

ひながたの底に流れるもの

二代真柱最後のよのもとと会総会会員の決意（一九六七年十月二十六日）

○よふぼくの心定め

今、この時旬に、ひながた通りに、物がなくても人をたすける誠があるから、このように豊かです。

人にばかにされても、人をたすける誠があるからこのように勇んで通れます。

また年を取っても、弱い身上であっても、人をたすける誠があるから、この通り勇めます。

たすけ一条の喜びとは私のこの姿ですと、世界の人に見て頂けるよう、

うちにたすけたいとの心を高め、身体を動かせば行ないを通して、

ものを言えば言葉を通して、見れば目から目へ火花を散らして、相手の心に、人をたすける喜びの炎を移していけるように、

ほとばしり出るまでの誠をもって日々を通らせて頂きます。